

信用取引ファクターの研究とファクター投資への応用

関 口 将 CMA
石 山 健 司 CMA・CIIA
玉 井 優 介 CMA・CIIA

目 次

1. はじめに
2. 信用取引ファクターの定義及びその特徴
3. ポートフォリオ運用におけるパフォーマンス
4. ファクター投資への応用
5. 考察とまとめ

これまで、信用・貸借取引に関するファクターとしての研究は多くなかったことから、信用取引ファクターを定義のうえパフォーマンスを検証した。その結果、既知のファクターでは説明できない有意な超過リターンが存在した。また、代表的なファクターに信用取引ファクターを組み合わせるとポートフォリオを構築するとパフォーマンスが向上するなど、信用取引ファクターが補完的ファクターとして利用可能なことも確かめられた。

1. はじめに

東京証券取引所（以下、東証）における信用取

引は、全市場の総売買代金の13.4%（注1）を占め、相場に対して一定の影響を及ぼしている。市場別に見ると、東証一部では9.9%、二部では24.1%、



関口 将（せきぐち まさる）

日本証券金融(株) 業務開発部長。1988年中央大学法学部卒業、同年日本証券金融(株)入社。リテール営業部長を経て、16年6月より現職。



石山 健司（いしやま けんじ）

日本証券金融(株) 業務開発部開発戦略課長。1996年中央大学経済学部卒業、2009年早稲田大学大学院ファイナンス研究科（現経営管理研究科）修了。96年4月日本証券金融(株)に入社、16年6月より現職。



玉井 優介（たまい ゆうすけ）

日本証券金融(株) 業務開発部開発戦略課 上席部長代理。2006年慶應義塾大学経済学部卒業、同年日本証券金融(株)入社。資金証券部、日証金信託銀行を経て、15年6月より現職。